

インフルエンザ関連情報 ～インフルエンザの発生動向について～

1 概要

高知県感染症発生動向調査の平成26年第51週（12月15日～12月21日）の定点医療機関からの報告数が3.58と、高知県全域で流行開始の指標とされている定点当たり1.00を超え、インフルエンザの流行時期に入ったと考えられますので、県民の皆様に対してインフルエンザの予防についての注意を促します。

* 定点当たり報告数とは

インフルエンザの患者数の把握をするため、定点医療機関として、県内48医療機関を選定し、毎週の患者数の報告をいただき、患者総数を定点医療機関数(48)で割った1医療機関当たりの報告数。

2 全国・高知県内の発生動向（インフルエンザ）

(1) 全国

定点医療機関の報告数は、平成26年第42週（10月13日～19日）以降増加しており、第50週（12月8日～14日）で定点当たり7.38となっています。報告数が多かったのは、埼玉県18.80、岩手県15.78、北海道14.26となっており、全都道府県で前週よりも増加しています。

平成26年第46週～50週の直近の5週間では、インフルエンザウイルスの検出は、A香港型の割合が最も多くなっています。

(2) 高知県内

定点医療機関の報告数は、第47週より増加し始め、第51週（12月15日～21日）で初めて1.00を超えました（3.58）。報告数の多い順に中央西福祉保健所管内14.20、高知市保健所管内3.56、安芸福祉保健所管内2.50となっています。

医療機関による迅速キット結果では、インフルエンザウイルスの検出はA型の割合が最も多くなっています。

(3) 高知県内保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における休校数、学年閉鎖学校数、学級閉鎖学校数（H26.12.24）

	12/15～21日	累計
休園、休校数	0	0
学年閉鎖学校数	1	1
学級閉鎖学校数	2	2

3 予防対策と注意事項

【かからないために】

- ① こまめに手洗いやうがいをしましょう。
- ② でかけるときは、なるべく人ごみを避けましょう。
- ③ 十分な栄養と休養をとりましょう。

【人にうつさないようにするために】

- ① 「咳エチケット」を守りましょう。
- ② 外出はできるだけ控えましょう。

【医療機関を受診する時の注意点】

- ① 事前に電話をして、受診時間や受診に際しての注意事項を確認しましょう。
- ② 受診する際には、必ずマスクを着用しましょう。

4 その他

厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/>

国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/index.html>

高知県健康対策課ホームページ

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/influ.html>

高知県感染症情報ホームページ

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/kansenshouyouhou.html>

※高知県では、日本一の健康長寿県構想を策定し、
県民の健康づくりを重点的に進めています。

担当課：健康対策課
担当者：内川・宮地
電話：823-9677